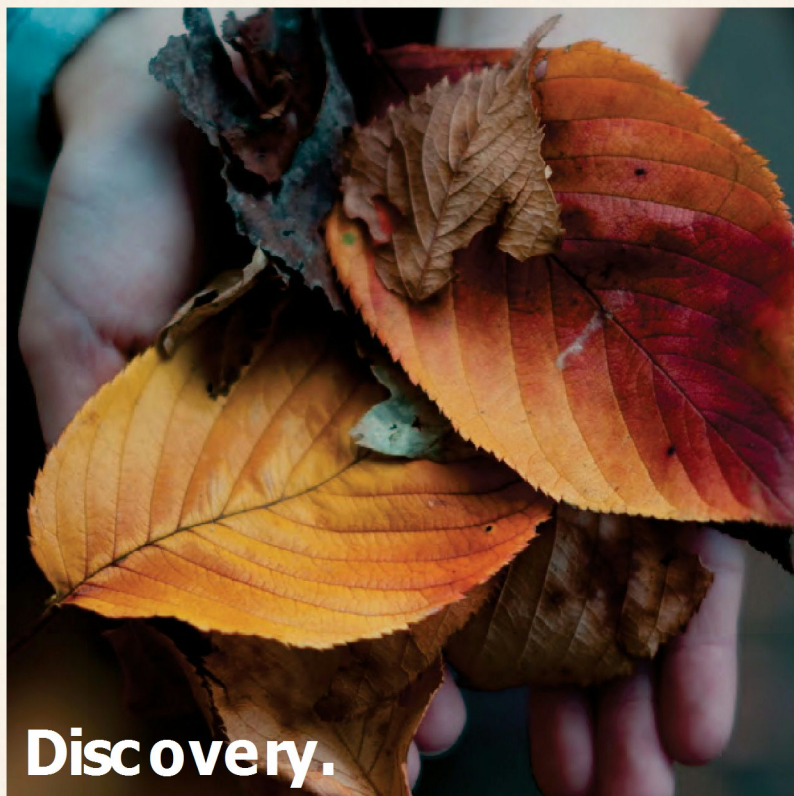


みいつけた!

福岡県保育協会通信



By mutual confidence and mutual aid,
Great deeds are done, and great discoveries made;
相互信頼と相互扶助にて、偉大なる行為はなされ、偉大なる発見がなされる。
—ギリシアの詩人 ホメロス

第63回福岡地方保育事業研修大会	2
第三者評価	3
第49回全国保育士会研究大会	4
気になるこどもへの支援	5
公立発信	6
新園紹介／新任保育士紹介	7
コラム	8
新任保育士就業・キャリアアップサポートセミナー／編集後記	9

第63回福岡地方保育事業研修大会

ほづみ保育園 園長 井手 道子

生きる力を育む「わ」

子どもが生き生き生きる

平成27年11月7日(土)県保育協会役員、福岡県、古賀市をはじめ関係の方々を迎えて、会員400名以上の参加で開催されました。

福岡県公立古賀寛成館高等学校のチアリーディング部員による若々しいチアダンスでオープニングの幕をあけました。

五所保育園長による開会の辞、大会実行委員長、花見光保育園長による挨拶に始まり、県保育協会万田会長による表彰(一般表彰)20名の方が長年の功績を讃えられ、会員のあたたかい拍手の中表彰を受けられました。

表彰を代表して花鶴どろんこ保育園本田佳代主任保育士が感謝と今後の保育への精進の決意を述べました。

古賀市は発展する新宮町、福津市に挟まれ、人口58,300人余り。花鶴浜の海と犬鳴山系の山々に囲まれ、博多駅へはJRで23分と住みやすい街です。

古賀市には現在認可保育所が10ヶ園、幼稚園4園があり、待機児童0を目指しております。

子どもが生き生きと生きるまち—生きる力を育む育ての「わ」を基本理念に、病後児保育事業、休日保育事業、一時預かり保育事業、長時間延長保育事業、要支援児支援事業、地域交流、子育て支援センター等、意欲的に、子育て支援事業に取り組んでおります。

記念公演では、雰囲気を変え「聞いて長生き!笑って健康。人生って素晴らしい」落語家林家うん平氏の健康体操と講話、落語に、思いきり笑って、心をリフレッシュ出来たひとときでした。

問題を抱えている子どもたちや、子育てに悩む保護者の対応に追われる日々ですが、子ども達の育って行く姿に喜びを共有しながら、生きる力を育み、教育の基礎を培う保育実践に向けて取り組んで参りたいと存じます。

最後に、当番園職員中心に、震災支援ソング「花は咲く」を全員で合唱し、明日への保育へ力の結集



を確認しました。次回開催地、筑紫地区実行委員長井上孫紹先生のご挨拶で終了しました。

終わりに、本大会を開催するに当たり、福岡県保育協会役員、各地区会長をはじめ関係者各位のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。



—はじめに—

保育所の第三者評価は、社会福祉法や児童福祉法において、施設の情報提供が努力義務とされたことや、より公正かつ適正な施設運営のため、他の児童福祉施設や社会福祉施設と同様に平成17年に導入されました。

久留米市には、公立保育園が9園あります。保育の質を向上するために平成20年度から第三者評価の受審を始め、平成26年度には当園が久留米市の公立保育園で最後の受審となりました。公立保育園全体で受審結果の検証を重ねてきましたが、いざ受審となると何をしたら良いのか不安なままのスタートでした。

—第三者評価に向けての主な取り組み—

まずは、「豊かな人間性を持った子どもを育成する」という当園の保育方針に沿った保育内容となっているかを検証することから始めました。全職員での会議、園内研修を重ね、自己評価シートを活用しながら、日頃の保育を振り返りました。当園の職員は、正規職員、任期付職員、常勤、パート保育士、看護師、調理師など、さまざまな立場の人で構成されています。それぞれが自分の役割を十分果たしていくには、お互いに理解し協力し合っていかなければなりません。自分に与えられた役割を果たすだけでなく、園の現状を把握すること、改善点を検討することも重要です。職員間の共通認識、情報共有は大変意義深く、チームで保育を見直したことが、一人ひとりの保育の質を高め、保育園全体の質の向上へとつながっていきました。

そのほか、以下のような項目を重点項目とし、受審に臨みました。

第三者評価

久留米市松柏保育園 園長 服部 信子

第三者評価を受けて

～保育の質の向上を目指して～

- ・77項目評価基準内容の理解(職員間での共通理解が重要)
- ・法令遵守の確認
- ・個人情報、プライバシー保護マニュアルの作成
- ・職員の情報の共有化
(全職員での会議、研修の実施、伝達記録等の徹底など)
- ・サービスの質の保障(苦情や事故の対応など)
- ・保護者への支援、地域との連携
- ・既存の保育マニュアルの点検、改善

—おわりに—

今回、全職員が一つになって取り組んだ第三者評価の結果は、調査者から「公立保育園の集大成」との言葉をいただいたところです。当園にとっては、たくさんの気づき、学びとなり、調査者の方の励ましや全職員での園内研修は、保育への自信にも繋がりました。いずれにしてもこの評価を得たことは、園全体のチームワーク、そして公立保育園全体の連携の賜物だと思っております。

福岡県内の第三者評価受審率はまだまだ低いようですが、久留米市公立保育園では、2巡目の受審が決定しています。1巡目での経験を踏まえ、改善すべき点は改善し、保育の内容や姿勢、保護者ニーズの充足に重点を置き、今後とも、子ども主体で地域に根ざした子育て支援の核となるよう、更なる質の向上を目指していきたいと考えています。



第49回全国保育士会研究大会

徳成寺みのり保育園 合戸聡子

子どもの命を育み、
学ぶ意欲を育てる
保育の実現をめざして
～あなたが大事 共に歩む未来へ～



平成 27 年 10 月 21、22 日、幕張メッセ コンベンションホールに於いて第 49 回全国保育士会研究大会が 1,441 名の参加によって、開催されました。

大会は、千葉敬愛学園高等学校 マーチング部によるオープニングで華やかに始まりました。開会式では子どもの豊かな育ちを支えるためのアピール文が読み上げられ、意義を再認識しました。

初めに、全国保育士会会長 上村初美先生より、「子どもの命を育み、学ぶ意欲を育てる保育の実現をめざして」と題しての基調講演がありました。「保育士養成課程等の検討会」「保育所保育指針の改定に向けた意見交換」「養護と教育が一体となった保育の言語化の取り組み」や「保育士の質の向上を目指しての組織強化」など、わかりやすくお話しして頂きました。続いて、厚生労働省の雇用均等児童家庭局 保育課企画官 楠目 聖氏より、「保育行政の動向と課題」について行政説明が行われました。消費税増税分の子育てへの活用法や、地域の実情に応じた新たな選択肢としての「認定こども園」制定、保育士確保など現実的な課題がたくさん見えてきました。

1 日目の締めくくりは、「未来＝こどもたち～農的暮らしと私の子育て～」と題して、歌手 Yae 氏のライブでした。存在感溢れる澄み切った歌声と映像で会場を盛り上げてくれました。歌手 加藤登紀子氏の次女であり、自然豊かな里山「鴨川自然王国」で、農を取り入れたスローライフを送っているそうです。エンディングでは、東日本大震災当日に誕生した子供たちの笑顔が映し出されました。メッセージのひとつひとつが大変な中で生まれ出た子ども達へ、たくさんの人たちの温かい心と助け合いを感じ自然と涙が流れてきました。「絆」の大切さを感じずにはいられませんでした。

2 日目、第 1 分科会「子どもの発達と環境 (3 歳未満児)」に参加しました。午前は、「姿勢や体幹について～生活や遊びの中で身につけるもの」につい

て、発表がありました。昨今、転びやすい子、姿勢の保てない子、イライラする子、意欲に欠ける子などの気になる子が増えています。そこで、乳児の身体づくりについてのアンケートの中からその背景を探っていました。バランス遊び、戸外遊びや散歩、リズム遊びなど体幹を鍛えられる遊びを工夫して保育がされていました。体幹と情緒は直接関係するものではないとの事ですが、スキンシップを多くもち、遊びを楽しく豊かなものにして、自発的に活動できる環境や働きかけが、体幹を鍛え生き生きとした活動につながると感じました。そして、「しっかりとした視点をもって見逃さない保育をする事」が大切であると学びました。

午後は、北九州市の乳児担当制保育を行っている園の、「3歳未満児の食事場面における適切な関わり」について発表がありました。園内研修としての研究で、食事場면을ビデオ撮影し、欠点の指摘ではなく、子どもの主体性を引き出せるような援助をする事を目的としていました。

私は、福岡県保育士会から派遣して頂き、初めての全国大会に緊張の中参加しました。役員の先生方にお世話になりながらの 2 日間、親睦を深め、情報交換をしながら、有意義な研修を受ける事が出来ました。この研修を通して、子どもの自主性の育ちや技術の向上になる様に、保育士が共通理解をもって、皆で学び合う職場づくりが大切だと思いました。また、子どもを取り巻く社会問題に、真摯に向き合い、保育士として専門性の向上に努めなければならないことを改めて心に銘じました。この研修会に参加できたことを心より感謝します。



気になるこどもへの支援

伊加利子鳩保育園 主任保育士 日野 多賀美



僕はお外に行ってもいいですか？
～A君の困り感に寄り添って～

年中児の A 君は興味のあることは夢中で場所、状況、時間を問わず話し始めます。興味のない先生やお友達の名前は何度復唱しても言えません。保育士が「青組さんお外に行きましょう」と指示を出し、青組のお友達が「A 君お外に行こう」と誘っても一人だけ椅子に座って「僕は外に行ってもいいですか？」と質問します。「A 君何組さん？」と質問すると「僕は青組です」と答えますが「青組さんお外に行きましょう」という指示は通りません。「A 君お外に行きましょう」と A 君の名前を呼び、個別に指示をだすと「はい」と元気に返事をし、お外に行きます。

保育園と言う環境を通して家庭では見る事の出来ない子ども同士のかかわりや子どもと保育士のかかわりの中での「気になる」場面でした。A 君は 2 歳で入園しました。おしゃべりが大好きで「なんで？」とよく質問をしました。家庭でお母さんと 1 対 1 のかかわりの中では気にならない発達の過程も集団では人や時間や状況を気にせず「なんで？なんで？」という質問をすると「今はその質問は控えてほしい」という場面もよくあり、子ども同士のトラブルも多くなりました。

A 君の興味関心を損なわず、なおかつ周りのお友達ともうまくやっていくにはどのような支援が必要なのか私たち保育士が学ぶ必要があると感じ、福岡県保育協会が実施している発達障害児等教育継続支援事業を利用し園内研修を計画しました。

まずは A 君の発達を理解しようということで臨床心理士を派遣していただき午前中は A 君の行動観察、お昼寝の時間を利用して A 君はどのようなことに困っているのか、またどのように指示を出せばうまくいくのかという視点で臨床心理士とカンファレンスを行い、夕方 A 君の保護者と担当保育士、主任保育士と臨床心理士にも同席していただき、面談を行いました。保育士会で作成した支援の手引きの中の「げんきっこシート」を用いて A 君の発達の様子や集

団の中で困っていること、今後どのような対応が大切なのかについて具体的に話しました。

「青組さんお外に行きましょう」では自分に対して出された指示と受けとめられないので「青組の A 君お外に行きましょう」と何度も繰り返して指示をだし定着してくると「青組さんお外に行きましょう」というだけで自分にも指示が出されていることに気づくようになる。ということでした。ちょっとした言葉かけ一つで A 君も集団の中で楽しく遊ぶことができます。

後日、当園の子育て講演会では「発達障害に対する理解」ということで臨床心理士に講演をしていただきました。保護者からは「何回言ってもわからんからイライラする、普段こんな話を聞く機会がないから良かった」などの感想が寄せられました。当園が利用した「発達障害児等教育継続支援事業」(注)は、すべて無料で利用できます。保護者と同じ目線で寄り添い、子どもの今の笑顔と最善の利益を保障するには、担当保育士が一人で抱え込まずに、他機関と連携をとり、ゆとりをもって園全体でサポートできる体制作りが大切だと感じています。

(注：編集者)「発達障害児等教育継続支援事業」とは！
福岡県・同教育委員会の主催事業。保育所については平成 23 年度から当協会が受託実施している。障害のある子どもに対して、医療・福祉・教育の専門家による教育相談(内容は講話・個別・連携支援等)を実施し、幼児児童生徒などに一貫した継続性のある支援体制を整備、推進する事業。問い合わせは当協会まで。



公立
発信



開園したよ！ 小竹こども園

小竹こども園 副園長
子育て支援センター長 山本 由紀子

年間行事

6月20日(土)	ママリラックスタイム(お茶会)
7月8日(土)	ベビーマッサージ
8月5日(水)	ベストフォトショット大会
9月30日(水)	子育て講演会 講師 林田スマ氏 演題「子育てを楽しむこと、 そして自分自身を生きること」
10月22日(水)	みそ作り体験
12月9日(水)	もったいないバザール
2月10日(水)	第1回赤ちゃん同窓会
3月8日(火)	大人のためのおはなし会

地域とともに・・・

人口 8,100 人程の小さな町だからこそできる子育て支援の目指す方向性は、小竹こども園と支援センターとで町内すべての子どもたちとかわりを持つことです。

4月開園時から現在までの利用者は決して多いとは言えませんが、毎月、支援センターだよりを保健センター・福祉課・児童館・中央公民館に配布し、周知を続けています。

そして、親子共々に満足いく時間を提供できるように、日々支援センター運営に取り組んでいます。幸いにも今まで参加された方々の反応は良好で、何より企画した私自身がたのしく仕事をさせてもらえることに感謝しております。

今後の課題としましては、他の市町村から転入された方に、わかりやすく利用しやすい支援センターとなるように、現行の巡回バスのバス停名を地名から施設名「小竹こども園・支援センター前」へ改名することを町に求めたり、ホームページの掲載にも力を注ぎつつ一人でも多くの利用者を増やしていきたいと考えております。そして、近い将来はお年寄りの方にも支援センターに遊びに来ていただくことで、地域全体で子育て支援ができる体制を整え、ともに育つ愛の相乗効果を生かした取り組みを行いたいと思っております。

平成 27 年 4 月 1 日から、旧小竹町立保育所と旧小竹町立小竹幼稚園が一緒になり「小竹こども園」が開園しました。

小竹こども園では、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づいた「教育・保育計画」を作成し、0歳から小学校に就学するまでの子どもの発達を一体的に捉え、教育・保育を行います。「教育・保育」とは小学校の先取りをして何かを教えたり、子どもの興味関心を無視して一斉に知識だけを詰め込むことではありません。遊びを通して、自ら考えたり工夫したりする体験が必要です。就学前にしっかり根を張っていずれ大きな木になるような力を育てるために「教育・保育計画」を実践していきたいと考えています。

子育て支援センター「たけのこ」

子育て支援センター「たけのこ」は、小竹こども園りんごルーム(旧小竹町立保育所)内に設置しています。支援センターをこども園内に設置した理由は、支援センターを訪れた母親がこども園で過ごす子どもの姿を見ることで、自分の子どもの成長等の不安を解消し、一年先・二年先の子どもの姿を見通せることで安心して子育てができるのではないかと考えました。

0歳から就学するまでの乳幼児とその保護者を対象に、安心して気軽に過ごせるふれあい空間の場です。そこで、子育てに関する情報の発信や悩み相談も受け付けています。

また、生後6ヶ月からの一時預かり保育を行っております。

新園紹介

なないろ保育園 園長 杉山 育子



なないろ保育園は、平成 27 年 4 月 1 日より宮若市に開園いたしました。母体となる社会福祉法人宮田親和会は、これまで宮若市内に障害者支援施設、老人介護施設等、幅広く社会福祉事業を展開してまいりました。待機児童解消のためにとの理事長の強い思いの下、開園された当園は、地域に愛される保育園運営を目指しております。法人理念として掲げる、3つの愛言葉「助け愛、ふれ愛、夢を持ち愛 歩き始めよう」の一つ一つの意味を噛み締め、保育所内、法人内はもちろんのこと、地域全体との深い交流を図っていくことで、子どもたちにも「人との関わりを大事にする」という人間にとって大切な感覚を培ってほしいと思います。

子どもたちは毎日、可愛い制服姿で登降園をしています。最初は着脱に四苦八苦していた子どもたちも開園から半年たった今では少しずつ円滑に着替えることが出来るようになってきました。

園舎は「木造建築の平屋建て」となっており、広々としたランチルームも備えています。ランチルーム、保育室の備品も木材を使用したもので構成し、木の温もりを全身で感じる事の出来る作りになっています。

「なないろファーム」と名付けられた畑を関連施設から準備していただき、野菜栽培、芋掘りなどを行い、育った作物で食育に取り組んでおります。近隣の田んぼで、田植えから稲刈りも体験し、1年中子どもたちが土と触れ合う機会を提供しております。

環境に恵まれた立地と関連施設の協力を得ながら、子どもたちが春夏秋冬をしっかりと感じることで五感を十分に体験し、考える力や感じる力を養うことができるように見守って行きたいと思っております。



子どもたちの 笑顔のために

新任保育士紹介

白梅保育園 保育士 桑野 昌代

私は現在、幼少期からの夢が叶い、保育士として白梅保育園で3・4・5歳児の担任をさせていただいています。私が保育士の道を志したきっかけは、母の働く姿を見てきたことでした。

私の母もまた、長年保育士をしており、幼少の頃から母の職場におじゃましたり、中学、高校の頃には、クッキングやお泊り保育などに参加させてもらったりしながら、子ども達の笑顔に囲まれて働いている母の姿を見てきました。そんな母の姿を見て、私もこんな風になりたい、子どもと関わる仕事がしたいと夢を抱いて大学へと進学しました。

いざ大学へ進学し、保育について学んでいくと、保育の難しさや様々な課題にも直面し、悩むこともありましたが、深く学べば学ぶほど、保育士という仕事に魅力を感じ、大学を卒業する頃には、春から保育士になるという期待に胸を膨らませていました。

4月、夢だった保育士としてスタートを切った私でしたが、分からないことだらけで不安を感じたり、上手くいかないことで焦りを感じたり、初めの一年は本当にすごい速さで毎日が過ぎていったように感じます。しかし、どんな時でも、キラキラした笑顔や真っ直ぐな瞳で駆け寄ってくる子ども達には本当に励まされ、元気をもらいました。2年目、3年目と失敗や経験を重ねてきましたが、今でも毎日が新鮮で、新しい発見の連続です。子ども達と日々を過ごしていく中で、何気ない日常が子ども達にとっては、わくわくどきどきの連続なのだ実感し、園庭で虫を見つけて目を輝かせている顔、大きくなった畑の野菜を収穫したときの笑顔、そんな子ども達のわくわくの瞬間に立ち会えていることにすごく喜びを感じています。

これからも、子ども達ひとりひとりが、保育園って楽しい!という思いを持って毎日を過ごせるように、ひとりひとりとの関わりを大事に、気持ちを大切に受け止めながら、いつでも子ども達の心に寄り添うことが出来る保育士でいられるよう、子どもの姿や先輩である先生方から沢山の事を学び、成長していきたいと思っております。

cavaco の

ワークショップ

子どもたちの
想像力に
耳をすまそう

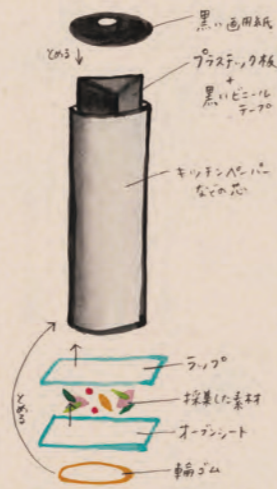
Vol. 11

万華鏡が最初にできたのは、今から 200 年ほど前のこと。偏光角と屈折率の関係を発見したイギリスの光学研究者ディヴィッド・ブルースターによってつくられました。ブルースターは灯台の投光性能を上げる鏡の組み合わせを考えている際に万華鏡を思いついたと言われています。斬新なこの玩具は「カレイドスコープ」と名付けられ（「美しい」「模様」「見るもの」の3つのギリシャ語を組み合わせた造語）、「偉大なる哲学的な玩具」と賞賛されました。日本にも江戸時代に伝わって人気を博し、明治時代に入ってから「百色眼鏡（ひやくいろめがね）」「錦眼鏡（にしきめがね）」などの名前でも愛されたとのこと。また時を経てアメリカ美術界では 1980 年代に「カレイドスコープ・ルネッサンス」として万華鏡ブームが再燃しました。

さて今回は、そんな万華鏡を使って、光や色の魅力で遊ぶワークショップをご紹介します。まずは光をあてると「黒い影ができるもの」と、「色が現れるもの」を子どもたちと一緒に見てみます。例えば、準備するものを赤に統一し、「影ができるもの」として赤い陶器のカップ、木製の赤い板など。「色が現れるもの」として赤いガラス（透明度の高いもの）や赤いセロハンなど。光があたると「影ができるもの」と「色が現れるもの」の雰囲気を感じ取ったら、次に身の回りの「光があたると色が見える」色々なものを探してみよう！とみんなで園内を探検。光の関係で色が変わりやすい場合は、逆に物を通して光を見ることで光が透けるかどうかを確認する方法もあることを共有しておくとういいます。こうして採集カップを持って探検していると、花びらや葉っぱなどが集まってきます。この採集した素材を入れて万華鏡をつくり、光を通して見える様々な色と模様を楽しむというわけです。

今回は最もスタンダードな万華鏡、筒の中に三角柱状の

鏡が入っているタイプの作り方をご紹介します。筒はキッチンペーパーの芯などを使います。鏡はハサミで加工できる樹脂ミラーがよいですが、高価なので今回は透明プラスチック板（硬質のもの）で代用します。プラスチック板の片面に黒いビニールテープやカッティングシートを空気が入らないように貼り、これをラップの芯にすぼり入るサイズになるよう三角柱に組み立てれば（黒面が外側）鏡の出来上がり。次に覗き穴をあけた黒い色画用紙で筒の片方を塞ぎます。最後にクッキングシート→採集してきた花びらや葉っぱ→ラップの順に重ね、筒のもう片方にかぶせて輪ゴムで留めれば完成です。中の素材がうまく動かない場合はクッキングシートを少し引っ張るようにしてラップとの隙間をあけて調節してください。細かなサイズ計測が必要



なパーツは先生方でご用意いただき、制作に慣れてきた年長さん後期での実施をおすすめします。

中の素材を交換すれば、描かれる模様は無限大。お友達の分と合わせて 2 本を両目で同時に覗き込むという斬新な見方を発見した子もいました。これがまた、思いがけない不思議な光景が広がって面白いのです。是非お試しください。

山下麻里（やました・まり）

グラフィックデザイナー。九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻修了。2007 年より目黒実氏が主催する九州大学「子どもプロジェクト」に企画・デザイン等で参加する。在学中、ユニバーサルデザイン教育を通じた社会貢献活動プログラム [こどもたちの UD 移動ミュージアム] にデザインで参加、同プロジェクトはグッドデザイン賞、キッズデザイン賞を受賞した。2012 年、福岡市西区に「生の松原子どもスコール」をオープン。

新任保育士就業・キャリアアップサポートセミナー

木の実保育園 園長 木下由美子

新任保育士等就業・キャリアアップサポートセミナーを終えて

当協会の新規事業として、「新任保育士等就業・キャリアアップサポートセミナー」を開催することとなりました。この事業は、保育所等で働く経験の浅い新任保育士等を対象として、就職前の保育に対する理解と就職後の現実とのギャップや職場の人間関係、保護者に対する相談支援等、離職につながりやすい困難性（要因）の軽減を図るとともに、併せて求められるキャリア蓄積をサポートすることにより、継続的就業を援助することを目的としています。10 月 14 日京築、15 日筑豊、16 日福岡、11 月 4 日筑後の 4 地方で開催し、200 名を超える保育士が参加しました。

北九州市あけぼの愛育保育園園長北野久美先生の「夢と希望と誇りをもって働くあなたへ」の講話を基本に、(株)福祉総研代表取締役桑戸真二先生と(株)福祉総研シニアマネージャー、社会保険労務士の安岡知子先生による深みと広がりのあるディスカッション・ワークで新任保育士の先生方は勿論、私たち世話人にとっても有意義な研修となりました。

北野先生には新任保育士時代の挫折エピソードを織り交ぜ、ロールモデルとなる新任保育士の育成についてご講話いただきました。新任保育士とのことばのギャップを専門職ならではの共通の言語を介して埋める取り組みや保育園での子育て支援は「子育て支援」「親育ち支援」「親子関係支援」「子育て環境支援」の 4 つの側面を実践することであり、保育そのものの原点でもある。まず個人のスキルを身に付けること、先輩の経験談の共感、聞く耳をもつ工夫、いいところ探しなど、社会人としての役割を果たし、

大人として育つことの重要性を話されました。さらに保育士は子どもの代弁者であり対人援助者である。好奇心とフレックスな思考と生きる力が必要である。そして毎日「はっ」として「ひやっ」として「ふーん」と頷き、「へー」と感心し「ほっ」とする連続である。仕事を継続してキャリアアップを目指してほしいと訴えられました。

また、安岡先生からは北野先生の講話をもとに新任保育士の葛藤や保護者対応の難しさ、先輩とのコミュニケーションの難しさ、課題、社会人としてのスキルについて講話を受けました。保育士に必要なことは相手の心をつかみ自分の思いを伝える力と見通す力に加えて人間性と専門性である。人はその人を知れば知るほど好感が持てる、そこでコミュニケーションを大切に人間性を磨くこと、専門性は資格を取得することで完成されるものでなく経験とともに成長していくものであり人間性が備わってこそ専門性が生かされる。人間性と専門性は無限の関係性をもち切り離すことが出来ない、保育士としての誇りを持って働く保育士へ熱いエールが送られました。

当日は、セミナー開始 10 分前に参加者全員が着席し、最後まで真剣な眼差しで受講する姿を拝見して、これからの意気込みを強く感じ感銘を受けました。

参加した新任保育士がこのセミナーを契機として不安を自信に変え多年にわたって仕事を続け、「子どもの笑顔が好き」「仲間の笑顔が好き」そして「私の笑顔キラキラさせます!」といえる保育士になっていくものと信じています。

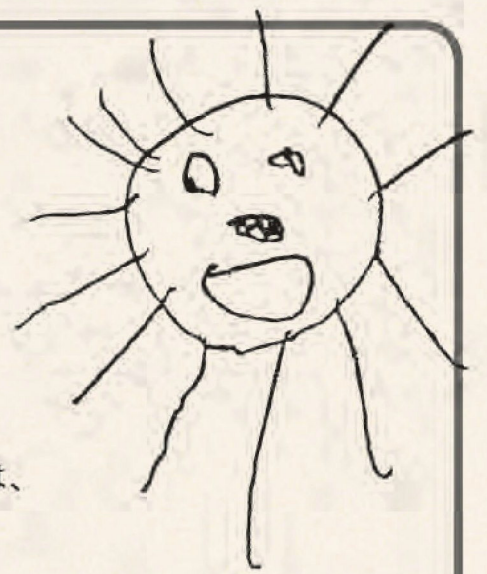
編集後記

全国的に保育士不足が深刻化する中、来年度に向けて保育士の確保にご尽力されていることと存じます。現場では秋も深まり木々の色づく鮮やかな時期に、散歩に出かけては子ども達の様々な発見に感動し成長の喜びを味わっていらっしゃるのでしょうか。虫や草花など自然と触れ合うときの子ども達は何物にも代えがたい最高の笑顔を見せてくれます。私達はこの笑顔が永遠に続くことを願い、更なる自己研鑽とチーム力に努め安心して過ごせる環境を提供していくことが重要です。ひとり一人が生き生きと輝く未来を保障することが私達の責務といえます。

広報部 木下

発行日 平成 27 年 12 月 15 日
 発行者 万田 康
 編集者 半田 義文
 発行元 公益社団法人
 福岡県保育協会
 発行所 春日市原町
 3 丁目 1-7
 TEL 092-582-7955
 FAX 092-582-7956

園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。
(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん (旧：全私保連保険制度)

「園賠償責任保険」
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」
「特別保育事業賠償責任保険」
など、園経営におけるリスクに関する保険を
ラインナップしています。また、それらを総合的に
補償するセットプランもご用意しております。

園児総合保障 共済制度

園児を24時間補償する
共済制度(こども総合保険)です。
保育者にとっては一般契約に比べて
団体契約による割引の適用で割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第二部 公務第一課
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・こども総合保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

